

# キャリア教育としての教員養成カリキュラムの現地調査報告

中井 隆司 河崎 智恵  
Takashi Nakai Tomoe Kawasaki

奈良教育大学大学院教職開発講座

School of Professional Development in Education, Nara University of Education

## 1.はじめに

近年、キャリア教育が学校教育に導入・展開されるようになり、小学校段階から、大学・大学院に至るまで、キャリア支援のための取組が拡充され、それぞれの目的に従って職業教育が推進されている。特に、高等教育においては職業教育に特化して専門職課程が新設され、職業教育の在り方について新たな検討が求められるようになってきている。

これらの動向は教員養成においても顕著であり、高度専門職業人養成のための教職大学院の設置のほか、高等学校における教育コースの新設もすすめられ、教職についての職業教育は重層的になりつつある。具体的には、高等学校の教育コースにおいて、教員養成大学との連携による教職に関する専門的なカリキュラムの検討が進展している（宮下 2009）。また、教員養成大学では、より実践的な力量形成を求める社会的要請のもと、職能成長を促進させる各種プログラムが推進されている（中井・米沢 2012、米沢ほか 2011、米沢ほか 2012）。さらに、平成20年度より新設された教職大学院では、現職教員を含んださまざまな背景をもつ学生に対する教員養成・教師教育として、複層的なカリキュラムも開発されている（吉村・小柳 2006、小柳 2009）。

しかし、各教育機関が生涯のキャリア発達課題を踏まえたキャリア支援・職業教育を行っているとは言い難く、教員養成に関する縦断的なキャリア教育の検討は課題と言わざるを得ない。

そこで、教員養成系大学、特に、教職大学院におけるキャリア発達課題を踏まえたキャリア教育カリキュラムを開発するために、国内の教員養成系大学・学部を現地調査し、資料を収集した。

## 2.1.大阪教育大学のキャリア教育

### 2.1.1.訪問日時

2012年2月16日（木）13:00-14:30に大阪教育大学キャリア支援センターを訪問し、キャリア支援センター副センター長特任教授 大嶋知之氏及び同キャリア支援センター学生サービス課就職係長 横山昌史氏に①キャリア教育の実施状況、②自己理解、

人間関係能力の育成、意思決定能力、就業開発に関する能力、生活実践力の育成、キャリア統合などを目的とした授業、③キャリア教育推進に関して重視したい能力、④キャリア教育推進に関して連携の必要性、⑤教員養成大学の学生に必要なキャリアに関する経験、の5項目の質問項目をもとに半構造化インタビューを実施した。

### 2.1.2.調査報告

キャリア教育に関しては、特任教授である大嶋氏が一人で1回生以上を対象に教養科目として「キャリア・デザイン（2単位）」を実施しており、前・後期（前期3コマ開講（平成22年度までは前期2コマ）、後期2コマ開講）で約800～1,000人（前期約500人、後期約300～500人）が受講している。

就職に関しては、キャリア支援センターが平成22年4月に設立され、業務として学生課が管轄している。教職員は教員採用試験の面接指導として2名（天王寺キャンパスに別に2名）が常駐し、企業就職に関しては2人（交代しながら）が常駐している。教員養成課程では教員志望が9割、企業・公務員志望が1割、教養学科では、教員志望が4割、企業・公務員志望が6割となっているので、それぞれに対応した就職指導が必要になっている。

大阪教育大学におけるキャリア教育に関する授業では、「自己理解」「人間関係能力の育成」「意思決定能力」「生活実践力の育成」に関する内容は「キャリア・デザイン」の授業内容（表1）として位置づけているが、「就業開発に関する能力」「キャリア統合」に関する内容は位置づけていない。具体的には、「自己理解」「人間関係能力の育成」は「キャリア・デザイン」「生活実践力の育成」の第3回「世代間意識調査・それぞれの世代、職業の人の考え方・意識を中心に」、第7回「自己分析・自己理解。自分の適性・強みは？」、第9回「コミュニケーション入門 自己紹介とゲーム・グループディスカッション」、第10回「企業の求める能力とキャリア、コミュニケーションの重要性」というテーマで、コミュニケーションと自己紹介やコミュニケーションバズというワークシート、エントリーシ

表1 「キャリア・デザイン」の授業内容

2011(平成23)年後期シラバス		学習・気付きのポイント
1	オリエンテーション 10. 5 大学生生活充実計画(ワーク)	シラバス概要説明、授業の進め方 キャリアデザインとは、プラス思考の考え方
2	企業の仕事と10年後のキャリア 10.12(ゲスト 社会人3名)	社会人とは、10年後は? いろいろな仕事、先輩の就活!
3	性別職域分業とその心理メカニズム 10.19(ゲスト 本学 安達・鈴木先生)	男性職、女性職にそれぞれが集中する。 なぜ?一緒に考えましょう。
4	教師とは、I 小学校編 10. 26 (ゲスト 本学・井上先生)	教師の役割・大切なことは 自身の体験談から
5	勤労観 11. 2 心よりどころとなる「ことば」	座右の銘、勤労意識、プラス思考 グッドラック他、元氣のことば紹介
6	質問回答 I 11. 9	就職活動(含教員・公務員)の流れ、 企業の求める人材等解説
7	自己理解・自己分析のポイント 11. 16	自分の適性、強みは? 就職、教授に必須
8	コミュニケーション入門 11. 30 (ワーク)	自己紹介、ゲーム、グループディスカッション 相手に伝わる話し方
9	質問回答 II 12. 7	質問には随時回答しますが 大変多くの質問があります
10	企業の求める能力とコミュニケーション 重要性(ゲスト) 1. 14	コミュニケーション力は企業の求める 能力の第1位、
11	エントリーシートにチャレンジ (ワーク)3大テーマ練習 12. 21	提出、添削指導、評価
12	教師とはII、高校編 (ゲスト 岸本先生) 1. 11	教師の役割・大切なことは 自身の体験談から
13	エントリーシート返却とアドバイス (ゲスト講師) 1. 18	「11」に評価とコメントと付けて返却
14	授業の振り返り、まとめ 1. 25	授業評価、アンケート記入
15		

ート、グループディスカッションシートなどを用いて行っている。さらには、卒業生からの講話やベネッセからゲスト(ベネッセ教育研究センター主任研究員)を招いて、講義をしてもらっている(大嶋氏がベネッセに勤めていた関係でベネッセの全面的サ

学部1回生・2回生向け

## キャリアガイダンス

「学生生活の充実」と  
「働くことの大切さを中心に」  
あなたの未来設計図を描いてみましょう!

- ・自分の人生をどのように生きたいのか
- ・自分はどんな職業につきたいのか
- ・そのためには何が必要か
- ・今から何をしなければならぬか

日 時:平成23年5月17日(火)  
16:30~17:30  
場 所:柏原キャンパス A-305講義室  
対 象:「キャリアデザイン」未受講の者  
(3回生以上や受講した者の参加も可能です)  
講 師:大嶋知之キャリア支援センター副センター長

平成23年4月 キャリア支援センター

図1 キャリア支援センター主催のキャリアガイダンス


ポート体制が構築されている)。「キャリア統合」などは授業時間数の関係でそこまで扱うことができない。もし、「キャリア・デザインII」などの授業科目を開設できるのであれば、実施可能だが、担当教員も併せて必要となる。

キャリア支援センター主催では、キャリアガイダンス、就職ガイダンス「職業観を育もう」、「自己発見適性検査」など年間を通じて実施している(図2)。

他大学や研究期間から情報提供や連携は必要であるし、岡山大学、舞鶴工業高等専門学校、立命館大学など主に私立大学から情報を収集しており、大学コンソーシアム大阪を利用して情報交換・発信もしている。また、大阪教育大学は大嶋氏の関係でベネッセの全面的なサポートを受けている(My Career Note(図2)、Career Support and Schedule、キャリア支援センターリーフレット、School Guide 2013 for Enterpriseなどは全てベネッセのサポートを得て作成)。

キャリア教育の推進に関わって高等学校から情報提供や連携の必要性を感じるが具体的な連携については浮かばない。教員養成大学の学生に必要なキャリアに関する経験では、教育実習等の就業的経験、運動系・文化系の活動等の経験は絶対必要、ボランティア等の支援経験、家庭教師等のアルバイトの実

## MY CAREER NOTE



OSAKA KYOIKU UNIVERSITY

図2 大阪教育大学のMY CAREER NOTE

践、市民的活動経験などは経験したほうがよいと思う。その他として、インターンシップの経験が必要だろう。

**収集資料：**

- 大阪教育大学企業インターンシップ実習承諾書
- 大阪教育大学大学案内
- 大阪教育大学My Career Note
- 大阪教育大学Career Support and Schedule
- 大阪教育大学キャリア支援センターリーフレット
- 大阪教育大学School Guide 2013 for Enterprise 就職ガイダンス案内
- キャリアガイダンス案内
- 授業シラバス（キャリア・デザイン）・授業資料

**2.2.和歌山大学教育学部のキャリア教育**

**2.2.1.訪問日時**

2012年2月20日（月）13:00-14:30に和歌山大学教育学部（教職・キャリア支援室）を訪問し、教育学部教職・キャリア支援室室長・教授 山名敏之氏及び同客員教授・キャリア支援室 富田幸一氏に①キャリア教育の実施状況、②自己理解、人間関係能力の育成、意思決定能力、就業開発に関する能力、生活実践力の育成、キャリア統合などを目的とした授業、③キャリア教育推進に関して重視したい能力、④キャリア教育推進に関して連携の必要性、⑤教員養成大学の学生に必要なキャリアに関する経験、の5項目の質問項目をもとに半構造化インタビューを実施した。

**2.2.2.調査報告**

キャリア教育に関しては、和歌山大学教育学部として授業科目は開設しておらず、教職・キャリア支援室は、主に教員採用試験対策業務が中心である。教育学部としてのキャリア教育・支援はしておらず、全学オフィスが全学生に対応している。就職支援は3年生から2カ年にわたりサポートしている。具体的内容（表2）は、3年生の10月の進路ガイダンスに始まり、教員を目指す人のための対策講座（卒業生で現職教員による講話など）、4回生の4月に教職教養講座、教員採用試験説明会、5月に音楽実技講座ガイダンス、6・7月に教員採用試験小論文添削指導、体育実技講座、模擬面接、8月に教員採用試験2次試験対策講座などが実施されている。また、就職関係授業科目として、全学開設教養科目として「進路と職業（2単位）（表3）」を開設している。キャリア教育関連科目は観光学部で「観光キャリア・デザインI（専門科目）」「和歌山企業トップ経営論（教養科目）」が開設されている。

教職・キャリア支援室は、客員教授2名（富田客員教授（大阪府教育委員会指導主事経験者・大阪府

**表2 2カ年にわたる就職支援スケジュール**

2年間スケジュール（日程は2011年度のもの、10月以降は予定）	
4月	4/1 第1回支援室会議 4/6 3,4回生・院生対象全体ガイダンス ●4/14 民間就職・公務員希望者のためのガイダンス ⇒キャリアオフィス カウンセラーによるカウンセリング（ガイダンス以後随時） 4/14 教員採用試験対策 志望動機・自己アピールに関する講座 4/15～4/20 教職教養講座 4/15「教育の情熱化」（豊田先生） 4/18「教育原理」（平田先生） 4/19「特別支援」（山崎先生） 4/20「教育心理」（水澤先生） 4/21～5/12 教員採用試験説明会 4/21 大阪府 4/26 堺市 4/28 大阪市 5/9 和歌山県 5/12 京都府 4/15～5/9 個別添削指導（1回目） ●2回目以降は客員教授担当
5月	●5/9 民間就職・公務員希望者のための模擬面接 5/13 第2回支援室会議 5/23 一般教養の勉強法（佐藤先生） 5/23 音楽実技講座ガイダンス ⇒2～8月 対象者に応じて複数回実施 ●5/23 キャリアオフィスとの打ち合わせ会 ●6/6 キャリア支援担当者会議 ●6/13 キャリアオフィスとの打ち合わせ会 6/16 第3回支援室会議 6/22 教員採用試験小論文添削指導① 6/27 体育実技講座 6/30 模擬面接①
6月	●7/14 全学就職支援担当者会議 7/7 教員採用試験小論文添削指導② 7/8 模擬面接② 7/14 第4回支援室会議 卒業生調査のためのハガキ発送（650通） 8/10 教員採用試験2次試験対策講座ガイダンス 8/10 大阪府エントリーシートの書き方講座 8/11 国語実技、模擬小論文試験 8/12 模擬授業 8/15 模擬授業、特別支援試験対策 8/19 体育実技、音楽実技 ●1次試験不合格者のための面接
7月	9/8 第5回支援室会議 10/4 10/7 3回生・院1回生対象進路ガイダンス 10/13～10/31 面接による進路就職カードの作成 ●2次試験不合格者のための面接 ●3回生を対象とした進路相談のための面接
8月	●民間就職・公務員希望者のための支援（就職決定まで） 教員を目指す人のための対策講座 10月～1月全10回を予定 10/ 講師登録ガイダンス（和歌山） 11/ 講師登録ガイダンス（大阪他） ●講師マッチングのための面接
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

校長会元会長）ともう1人（和歌山県内校長経験者）が交代で常駐している。職員は教務課職員1名が兼務でほとんど教務関係に従事している。大学にはキャリア室があり、公務員・企業就職希望者はキャリア室が担当し、教職志望者だけを教育学部教職・キャリア室が担当している。来年度からは中・高等学校の理数系教員志望者への対応を重点的に実施するために、さらに、対応教員の増員を検討中である。教員採用試験対策の模擬試験などは業者と提携しておらず、学生は個人でさまざま模擬試験を受験している。堺市（4人）、大阪府（若干名）などの教師塾にも学生は申し込んでいる（和歌山には教師塾はない）。教員養成課程は145名（約8割は教員採用試験を受験する）、新課程は40名（約半数は教員採用試験を受験する）。教員採用試験合格者は和歌山県50%、大阪府市・他府県で50%である。学校ボランティア（無償）も今年度から和歌山市と提携して実施を始めたが、組織だっちはまだできていない。ボランティアは「社会体験実習」として2回生以上を対象に30時間で1単位、最大4単位まで卒業要件（自由単位）として単位認定している。スクールサポート（謝金有り）紹介の窓口は教職・キャリア支援室が行っているし、各教員に募集の紹

介などもしている。

教員養成大学の学生に必要なキャリアに関する経験では、教育実習等の就業的経験、運動系・文化系の活動等の経験、ボランティア等の支援経験、家庭教師等のアルバイトの実践、市民的活動経験などは経験したほうがよいと思う。和歌山大学は和歌山県内はもとより、大阪府南部（岸和田市など）からの入学生が多く、楽車など地域に密着した地域から来ている学生が多いので、日頃からさまざまな地域活動に参加している。

**収集資料：**

和歌山大学就職支援年間スケジュール表 授業シラバス（進路と職業、和歌山企業トップ経営論、観光キャリア・デザイン I）

**3.おわりに**

今回、教員養成系大学・学部のカリキュラム教育カリキュラム調査ということで、大阪教育大学及び和歌山大学教育学部の現地調査を実施した。

両大学とも、キャリア支援センター（室）を設置し、就職支援・サポートには取り組んでいるが、授業科目やキャリア教育カリキュラムの構築といった点では、その必要性は認識しつつも、難しい現状が読み取れた。ただ、今回の訪問で収集できた CAREER NOTEなどの資料は、教職大学院のキャリアノート開発に、シラバスは授業内容を考えるうえで重要な資料であり、今後、参考にしながらキャリア教育カリキュラムの開発を進めていきたい。

最後に、年度末の多忙な時期に訪問調査に応じて頂いた大阪教育大学キャリア支援センター副センター長特任教授 大嶋知之氏及び同キャリア支援センター学生サービス課就職係長 横山昌史氏及び和歌山大学教育学部教職・キャリア支援室室長・教授 山名敏之氏及び同客員教授・キャリア支援室 富田幸一氏に謝辞を述べて本報告を締めくくりたい。

**引用文献**

中井隆司・米沢崇(2012) 職能成長養成モデルに基づく教員養成カリキュラム改革の取り組み—専門職基準に基づく自己診断による自己学習システムの開発—, 日本教育大学協会研究年報30:121-132.  
 宮下俊也(2009)「奈良県立平城高校との教育連携に関する協定」に基づく、本学学生による平城

**表3 「進路と職業（2単位）」のシラバス**

科目名	進路と職業
担当教員	本江 尚美子, 佐藤 史人
対象学年	クラス
講義室	出席簿
曜日・時間	単位数
授業形態	単位数
履修単位	2
備考	対象学生 全学部 全学年
科目名(英語表記)	Vocational Guidance & Career Education
研究室	教育学部306経済学部477デザイン716
オフィスアワー	水曜 13:10~14:50平日 10:00~16:00
授業のねらい・概要・科目の位置付け	大学教育の目的の一つは、社会人・職業人としての人格・能力・資質等の修得・向上にある。和歌山大学では学生自身の卒業後の進路選択・決定をより現実的で良いものにするために、キャリア教育の実業を仕掛けている。就職学卒業の進路選択は近年、急激に狭い環境となっている。また、早期離職率も高く増加している。そこで、社会の状況・職業の内実・労働の意義などを学ぶことについて、主体的に取り組むことが重要である。特に1・2年生においては、職業や仕事の世界を知り、労働の意義や社会的責任について学び、職業観・勤労観を育成すること大切である。本講義では、経済・労働・教育訓練などの社会的システムに関する具体的な事例を取り上げながら、学生自身が自己理解・自覚を深め、大学での学びを充実させつつ、自身の将来の職業生活に向けて一定の進路・職業を確立することをめざす。授業科目「和歌山企業トップ経営論」, 経済学部専門科目「社会人基礎力」キャリア・デザイン(本庄啓典)では、職業・キャリアに関する内容を取り上げているので、合わせて受講することを勧める。
授業計画	以下の内容を予定しているが、外部講師等の都合により内容・順番は変更する可能性がある。 【授業計画】 1. オリエンテーションとこの講義を受講するにあたっての心構え 2. 職業の世界とは 3. 進路決定した先輩から学ぶ ~和歌山大学の進路状況と就職事情~ 4. 和歌山大学で学ぶことと大企業 ~大学の紹介-有効利用~とインターンシップ制度について 5. ライフワークとキャリアデザイン~自分自身を見つめる~ 6. 職業について知る(1)~キャリアマトリックスやDVIを用いての紹介~ 7. 社会人(和歌山大学OB・OG)から学ぶ ~現在の仕事内容や社会が取り巻く環境について~ 8. 職業について知る(2)~キャリアマトリックスやDVIを用いての紹介~ 9. 職業資格と検定制度の効用 10. 大学生のマネーとモラルについて考える 11. ガストによる進路・職業に関する講演 ~社会保険労務士から~ 12. 企業の新卒採用から学ぶ 社会が求める人材~社会で必要な力とは~ 13. 学ぶことと働くことと考える 14. 学生にできること 15. まとめ
到達目標	職業に関する知識・情報を習得し、それを活用して自己分析をし、各自がキャリア・デザインできる。
成績評価方法	出席点(レポート/レポート)50% 出席点 50%
教科書	特になし。資料・プリントを授業配布する。
参考書	『キャリア開発と職業指導』伊藤一雄・佐藤史人・堀内達夫編著 法律文化社 2011年 その他必要に応じて適宜紹介する。 『キャリア開発と職業指導』伊藤一雄・佐藤史人・堀内達夫編著 法律文化社 2011年 その他必要に応じて適宜紹介する。

高校生支援プログラムの実践。平成20年度学長裁量経費（教育研究開発・改善プロジェクト経費）研究成果報告。奈良教育大学。

小柳和喜雄(2009)教職大学院の現状とスタンダード開発の取り組み。日本教師教育学会編『日本教師教育学会年報 教員の受容変動と「質保証」』第18号、pp.38-48.

米沢崇・中井隆司・中谷昭(2011)ICTを用いた課題解決・省察型教員養成授業モデルの開発とその可能性の検討—職能成長養成モデルに基づく保健科教育の実践事例—, 日本教育大学協会研究年報29:175-187.

米沢崇・中井隆司・伊藤剛和・竹内範子・坂下伸一・井村健(2012)職能成長養成モデルに基づく教育実習の取組における教育実習生の学びの足跡—教育実習アセスメントプロジェクトの実施とその可能性—, 奈良教育大学教育実践総合センター研究紀要21:131-138.

吉村雅仁・小柳和喜雄(2006)米国における専門職大学院とPDSの連携について—4つの大学院とNCPDSでの調査結果を中心に—, 教科教育学研究24:117-130.